

ふむふむ

2020年10月
茨城学習センターだより 第77号

もくじ

巻頭言	1
学位記授与式	2
名誉学生表彰	3
学習奨励賞表彰式	4~5
新入学生	5
学習センターの利用について	6~7
事務室からのお知らせ	8~10
ライブラリー講演会・学友同窓会	11
スケジュール	12

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)
TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685

正しく「発声」してみませんか

茨城学習センター客員教授 谷川 佳幸
茨城大学教育学部教授



昨年度茨城学習センターにて声楽ゼミを開講いたしました。様子の分からなかった初年度と違い、楽しい1年分の計画を練って迎えた2年目がロケットスタートするはずでしたが、今のところ「声楽」は危険なもののように扱われる悲しい今年となっています。

新型コロナ関連報道の中でよく「発声」という言葉が使われています。私はどうしてもこの「発声」という言い方に違和感を覚えてしまうのです。単に「声を出す」という意味で使われているのですが、声楽をやる者にとって「発声」とは技術を指すことが普通です。

「さあ、発声からやりましょう」とは「まず発声練習から始めましょう」ということになります。そして発声練習とは、ウォームアップではなく、良い声を出すための訓練であります。

腹式呼吸とか、お腹から声を出す、響きで歌う等々聞いただけでは分からない、出来ないことが多いのは確かです。実技ですから当然です。知れば出来るというものではない、知ったところがスタートで、そこから自分の体をどうコントロールしていくかが重要になります。

ですがこんな時ですから、悪のように言われる「発声」を正しく行って陰湿な気分を吹き飛ばしてしまいませんか。大きい声を出すことは確かにストレス発散になります。でも大きい声を出したらコロナが…、そうです、だから正しく行うのです！

口の前にロウソクや線香を持ち、その炎や煙が揺れないように声を出す、というのをご覧になったことはありませんか。息を吸う時も、声を出すときも炎や煙を揺らしてはいけません。実際にロウソクや線香を持たなくてもイメージで構いませんので、まずお腹を膨らませるように息を吸ってみましょう。口や鼻から勢いよく吸うと揺れてしまいますよ、ゆっくりお腹や背中を広げれば自然と息が入ってきます。ラジオ体操の深呼吸のような感じです。

そのままお腹で低く「うーー」と唸ってみましょう。息を吐くのではなく、吸ったままの状態です。「うーー」が出来たら少しずつ文明人らしく「あー」とか「おー」とか音程を付けていきます。お腹で吸って、お腹で唸っているだけです。唾が飛んだりしないのは明白です。これを増幅させて声を大きくしていくのであって決して上半身や喉で力むではありません。

これが「発声」。この方法なら喉がかれることも唾をまき散らすこともありません。縮こまった体を伸ばし、今年度後半が楽しいものになりますように。

ご卒業おめでとうございます

10月4日(日)に、令和2年度第1学期卒業生に対する「学位記授与式」が、茨城学習センターにおいて挙行されました。学位記の授与、佐藤和夫所長の式辞と、渡邊邦夫客員教授からの祝辞、DVDでの学長メッセージに続き、学位記授与者代表の田邊裕美様から謝辞が述べられ、25名の学部生が卒業となりました。

生活と福祉コース	7名
社会と産業コース	3名
情報コース	2名
心理と教育コース	4名
人間と文化コース	6名
自然と環境コース	3名
合計	25名



謝辞

卒業生代表
(自然と環境コース卒業)

田邊 裕美



本日の卒業に当たり、お世話になった皆様に一言感謝の言葉を申し上げます。40年勤めた会社生活を終えて心の空白を埋めるべく、新たな目標を放送大学に求めました。そこには今まで自分が知らなかった新たな学問の世界が広がっていました。また昔学びながら中途半端に理解していたことを学びなおす絶好の機会でもありました。学友に刺激を受けて始めた新たなチャレンジもいくつかありました。私はこれまで自分が勉強好きだとは思っていませんでしたが、勉強というのは自発的にやれば楽しいものであることを痛感しました。

全科履修生として自然と環境コースを専攻して以降、放送授業や面接授業はもちろんのこと、茨城学習センター内で行われるゼミやサークル活動に積極的にかかわることができたのは、ひとえに本センターの教職員の皆様をはじめ、諸先輩方や学友の支えがあったからこそと深く感謝しております。

2020年は新型コロナの感染防止のために、本学習センター内の活動も自粛を余儀なくされてきました。幸いここに来て徐々に緩和されつつありますが、センター職員の皆様のご苦労もいかほどかと察せられます。

本日卒業証書を頂きましたが、私自身はまだ学ぶべきことが山ほどあり、完全卒業とは至りません。これからも生涯学習に努めてまいりますので今後ともよろしくお願ひします。

茨城学習センターに集う皆様の今後のますますのご発展を願いつつ、謝辞とさせていただきます。

名誉学生表彰

放送大学では、教養学部の全コース（又は専攻）を卒業した全科履修生の方で、人物、学習態度が良好で特に優秀な学業成績を修めたと認められる学生に対し、「放送大学名誉学生」の称号をお贈りし、表彰状及び副賞の授与を行っております。この度、佐藤和彦さん、葛貫壮四郎さんが全6コースを終えられ、名誉学生の称号を付与されました。その栄光と喜びを称え、心よりお祝い申し上げます。

名誉学生の称号を授与されて

このたび全6コース卒業し名誉学生の称号をいただき、ありがとうございました。今回の卒業で7学士、3修士となり2桁卒業も同時に達成でき喜びも倍増です。

この全6コース卒業については、ふむふむ第64号で平成25年度2学期卒業生からのメッセージとして目標に掲げておりましたが、あれから6年とあつと言う間のことだったように感じています。

各コースを履修する上で問題となる履修科目の選定については、サラリーマンであることから単位認定試験を平日に受験することは難しく、土日に試験のある科目を優先的に選んでいましたが、放送大学は科目数も豊富なので、科目選定にそれほど苦労はしませんでした。

名誉学生になって一つ残念なことは、全科履修生として再入学できなくなるのですが、学習の楽しさを教えてくれた放送大学には非常に感謝しております。今後も放送大学で学習を続けたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。



佐藤 和彦 さん
(選科履修生)

名誉学生の称号を授与されて

このたび学部の全6コースを卒業し、名誉学生の称号をいただき、誠に有難うございます。1998年に入学してから22年も学び続け全コースの卒業を達成でき喜んでおります。当初、90歳までは全コース卒業を目指しておりましたが、早めに達成できました。

今回は「生活と福祉」が最後のコースでした。この期間に病魔に襲われたり、新型コロナの感染のため受験できないなどのハプニングもありました。その中で、「食と健康」、「健康長寿のためのスポーツロジー」、「リハビリテーション」など健康に関する科目を履修できたことは幸いでした。

放送大学は、科目数が豊富で新しい知識が系統的に学べるため、まさに生涯学習にふさわしい大学です。これまで継続的に学べたのは、学習センターの諸先生と職員の皆様、更に、学生の皆様のご指導、ご支援があったためです。心よりお礼申し上げます。今後は、修士選科生として学びを継続していきたいと存じます。



葛貫 壮四郎 さん
(修士選科生)

学習奨励賞表彰

学習への高い志と絶えまぬ努力に敬意を示し称えらるとともに、これからもますますご活躍されることを祈念し、10月4日(日)茨城学習センターにて、学習奨励賞の表彰式を開催いたしました。表彰は、学部または大学院の3コース(プログラム)以上を卒業・修了された方に行い、卒業・修了されたコース・プログラム数に応じて、茨城の山々の標高にちなみ、『八溝賞』『筑波賞』『神峰賞』の愛称名を付しています。

卒業コース(専攻)数または修了プログラム数が3, 4, 5回に達した学生を表彰いたします。



八溝賞	松林 恵美さん	前島 寿子さん	服部 紳二さん
筑波賞	山下 功さん	佐藤 晃一さん	
神峰賞	宮内 健さん	谷口 紀子さん	

※八溝賞 ... (卒業または修了回数が) 5回以上、筑波賞 ... 4回、神峰賞 ... 3回

5回目の卒業にあたって

本当に長い間お世話になりました。本当にありがとうございます。

私は、1998年(平成10年)4月に放送大学に入学しました。

2003年(平成15年)「生活と福祉専攻」を卒業

2005年(平成17年)「人間の探究専攻」を卒業

2009年(平成21年)「発達と教育専攻」を卒業

2014年(平成26年)「社会と産業コース」を卒業

2020年(令和2年)「自然と環境コース」を卒業致しました。

今回の「自然と環境コース」の時は気が緩み、すでに卒業したコースの好きな科目に夢中になったりしていましたので、卒業はもっと先だと思っていました。それが「卒業です」と言われた時は、驚きと同時に嬉しくなっていました。

そして私は考えたのです。これからは、放送大学に籍を置いて、卒業はしなくてもいい、自分のやりたい科目だけをやっていきたいと思ったのです。これからもずっと、何らかの形で勉強していきたいと思っています。

今年新型コロナウイルスが発生し、大変なことになってしまいました。茨城がステージ3からステージ2になった今、私は地域の方々とグランドゴルフに夢中になっています。体力を維持することの大切さを実感したからです。健康に留意し、地域の人たちといかん仲良く生きていけるか考えながら過ごしたいと念じています。今まですべての学習を支えてくださいました諸先生方に厚くお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。



松林 恵美さん
(情報コース)



修得学位：

生活と福祉専攻 / 人間の探究専攻 /
発達と教育専攻 / 社会と産業コース /
自然と環境コース

八溝賞受賞

今回過分なる八溝賞を頂き、振り返ってみますと此処までの道のりは長いようにも感じ、また短いようにも感じられます。一つの仕事を終え、次なる人生の目的を模索していた時、目に入ったのが放送大学でした。既に最終の学校を卒業して50年を過ぎ、暫く学業から遠ざかっていた生活でしたから何処か新鮮さを感じ、引き寄せられように放送大学に籍を置く事に決め、学びながら目標を決めるのも一つの道ではないかと考えるに至りました。

そして探し求めた目標が、奈良時代に聖武天皇の詔によって全国68ヶ所に建立された『古代国分僧・尼寺の研究』でした。此処石岡の地は古くは常陸国の中心地で国府が置かれ、国分両寺の存在した所です。この研究を全6コースの共通目的とし、集大成である卒業研究では中心に於いて研究して参りました。全国国分寺跡巡訪では、各地の学習センターの面接授業を兼ねて廻るといいう様に、全国50カ所に有る学習センターは有り難い存在でした。

最後残り一科目、今回の受賞は「全力疾走で頑張れ!!」と鞭打って下さったものと有り難く感謝して居ります。



前島 寿子さん
(心理と教育コース)

八溝賞

修得学位：

生活と福祉専攻 / 人間の探究専攻 /
自然と環境コース / 情報コース /
社会と産業コース

八溝賞を載いて

2012年9月に最初の卒業(自然と環境)をしてから、別の分野も学んでみたいと思い「人間と文化」を取りました。その後、仕事にも関係がありそうな「社会と産業」を履修しているときに、「情報」が新設され、「情報」(情報関係の仕事なので)を履修しました。情性でグランドスラム(全コース制覇)を目指し「生活と福祉」を履修し、最初の卒業から8年、5回目の卒業で学習奨励賞(八溝賞)を頂くこととなりました。「生活と福祉」では、感染症と生体防御など、今、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に役立つ知識を得ることができました。また、グランドスラムを目指し「教育と心理」に再入学しました。

学習奨励賞(神峰、筑波、八溝)を頂くことができ、学習の励みとなりました。ありがとうございます。



服部 紳二さん
(心理と教育コース)

八溝賞

修得学位：

自然と環境コース /
人間と文化コース / 社会と産業コース /
情報コース / 生活と福祉コース

ご入学おめでとうございます

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、毎年盛大に催されていた「入学者の集い」と、学友同窓会による「祝賀茶話会」は、残念ながら中止になりましたが、令和2年度第2学期は、学部学生273名、大学院生21名の、併せて294名の方々が茨城学習センター所属学生として入学され、新たなスタートが始まりました。

学部

全科履修生 51名
選科履修生 109名
科目履修生 113名

合計 273名

大学院

修士選科生 15名
修士科目生 6名

合計 21名

学習センターの利用について

※学習センター『利用の手引き』参照

学習センターは、面接授業や単位認定試験を行うほか、証明書等の発行、学習相談、図書・雑誌の閲覧や、放送番組を再視聴などができる放送大学の施設です。また、学生相互の交流の場として有意義な学生生活を送るための施設でもあります。

学習センターの利用に当たっては、「学生生活の栞」及び「利用の手引き」をよくお読みになってご利用してください。

●学習センターを利用できる方

- ①本学の学生
- ②その他、学習センター所長が特に認めた者

●利用上の注意事項

学生証：放送大学の学生であることを証明する身分証明書です。視聴学習・図書室の利用及び単位認定試験の受験等で学習センターを利用する際は、必ず携行してください。また、学生証を他人に貸与又は譲渡することは禁じられています。

駐車場：茨城大学の渡里駐車場を利用できますが、台数に限りがあります。できる限り公共交通機関をご利用ください。お体が不自由な方で自家用車などで通学を希望される方は、事務室窓口にお申し出ください。

●開所日と利用時間

【通常期間】

火～日 9:00～17:30



【単位認定試験期間】

火～日 9:00～19:00(視聴学習・図書室 9:00～18:45)

【閉所日】

月曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)及び学習センター所長が特に必要と認めた日

※臨時閉所等により、開所日・閉所時間を変更する場合は、その都度 [ホームページ](#)でお知らせしますのでご確認ください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>

10月1日からの利用については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の利用方法となっておりますのでご注意ください。

■開所日と利用時間

火曜日～日曜日 9:30～12:00 13:00～16:00

※12:00～13:00は、換気・消毒のため閉室します。

■利用方法

本センターが所在する茨城大学水戸キャンパスにおいて、入構規制が実施されておりますので、以下の手続きにより入構してください。

- (1) **自転車、徒歩** で入構する場合
守衛所受付に学生証を提示し、入構となります。
- (2) **自動車** で入構する場合
守衛所受付に学生証を提示し、パスカードを受取り入構となります。

【利用可能駐車場】

平日 : 渡里駐車場(センターまで徒歩約15分)

土曜・日曜日 : 水戸キャンパス駐車場

■利用時の留意事項

- (1) 自宅等で検温のうえ、せきや発熱などの症状があるときは、来所をご遠慮ください。
- (2) 必ずマスクを着用してください。(着用されていない方は入館できません。)
- (3) 手指の消毒及びこまめな手洗いをお願いします。
- (4) 長時間の滞在はご遠慮願います。(概ね3時間以内)
- (5) センター内での飲食は禁止します。(水分補給は適宜行ってください。)
- (6) PC等を利用する場合は、ヘッドホンまたはイヤホンをご持参ください。
- (7) 事務所窓口で来所者名簿に記入していただきます。
- (8) その他、職員の指示に従ってください。

■ゼミ・学習相談

感染防止対策を行ったうえ実施します。



■サークル活動

感染防止対策を行ったうえ実施します。



事務室からのお知らせ

『学生生活の栞』には、放送大学で学ぶにあたっての方法、留意事項、諸手続きをはじめ、学習センターの利用方法や課外活動等についての詳細が記載されています。学生生活を送るうえで疑問点が生じた時には、随時ご参照ください。



学生証の交付について

『学生生活の栞』学 部 P18 ~
大学院 P24 ~

学生証の交付は、茨城学習センターの2階事務室窓口で行っています。単位認定試験受験や視聴学習室の利用の際に必要ですので、必ず受け取りに来てください。

- 令和2年10月に新規入学・再入学・継続入学された方
→入学許可書をご持参ください
- 有効期限切れとなった学生証をお持ちの在学生の方
→期限切れの学生証をご持参ください
(有効期限は全科履修生：2年間
選科履修生：1年間
科目履修生：半年間です)



出願時に写真を提出していない方は、「写真票」(学生生活の栞巻末)に必要事項を記入の上本部学生課へ提出してください。ご自身でシステム WAKABA の「学生カルテ」から登録することもできます。写真の登録手続きを行っていない方は、学生証を交付できませんのでご注意ください。

証明書の発行について

『学生生活の栞』学 部 P103 ~
大学院 P91 ~

『学生生活の栞』巻末にある「諸証明書交付願」(様式9または10)に必要事項を記入し、学習センター事務室窓口にて、手数料(1通につき200円)を添えて申請してください。

※「諸証明書交付願」は、システム WAKABA からダウンロードできます。

- 郵送による申請
郵送での申請は、以下のものを同封して学習センターまで送付してください。
 - ①諸証明書交付願
 - ②手数料(1通につき200円) ※郵便局で必要な手数料分の「郵便定額小為替証書」を購入し同封または現金書留にてご郵送ください。
 - ③返信用封筒(長形3号封筒 120mm×235mm に宛名明記、切手を貼付したもの)
返信用切手 証明書1通→84円 2通→94円

※証明書の種類によって、発行に時間が掛かるものがあります。発行日数を考慮し、余裕を持って申請してください。

※現在教員免許状を持っている方で、上位または他教科等の教員免許状を申請する場合は、『教員免許状申請用証明書』と記入されている「諸証明書交付願」(様式10)で申請してください。(「諸証明書交付願」の様式は2種類ありますので、間違いのないよう注意してください。)

※感染症防止の観点からできる限り郵送による交付をご利用ください。

学割証の発行について

『学生生活の栞』学 部 P128 ~
大学院 P115 ~

全科履修生及び修士全科生は、自宅から学習センターまたは大学本部に通学する場合や、面接授業を受講する場合、単位認定試験の受験等において、学生旅客運賃割引証(学割証等)の交付を受けることができます。学割証等発行願に必要な事項を記入し、学習センター事務室窓口にて申請してください。

※個人的な用務等の利用は認められませんのでご注意ください。

※教養学部卒業研究や大学院修士全科生が研究指導のため移動する場合等については、指導教員から指示(許可)があったことを示す書類が必要です。

通信指導の提出について

『学生生活の栞』学 部 P67 ~
大学院 P64 ~

提出期間(2020年度第2学期)

【郵 送】11月17日(火)~12月1日(火)本部必着

【インターネット】11月10日(火)10:00~12月1日(火)17:00

通信指導が未提出または不合格の方は、単位認定試験を受験できませんのでご注意ください。通信指導を提出すると、その添削結果と自習型解答・解説が12月末~1月上旬にそれぞれ別々に送られてきます。以下の未着期限までに届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111(総合受付))に連絡してください。

未着期限

自習型解答・解説 : 12月23日(水)
択一式科目(併用式科目の択一部分) : 1月8日(金)
記述式科目(併用式科目の記述部分) : 1月18日(月)

単位認定試験について

『学生生活の栞』学 部 P70 ~
大学院 P67 ~

単位認定試験は、原則として所属学習センターでの受験となりますが、転勤・転居等やむを得ない事情の場合は、所属学習センター以外での受験が可能です。受験センターの変更手続きが必要となりますので、期間内に「単位認定試験受験センター変更願」(「学生生活の栞」巻末)を提出するか、システム WAKABA で早めに手続きを済ませてください。変更手続きをされても、受験を希望する学習センターの収容人員の状況によっては変更できない場合があります。受験センターの変更は「学期単位」で、試験日ごと・科目ごとの変更はできません。

但し、2020年度2学期単位認定試験については、新型コロナウイルス感染症が拡大する可能性を考慮し、2020年度1学期単位認定試験と同様に、代替措置による自宅受験にて実施致します。

詳しくは郵便や大学ホームページ、システム WAKABA 等で順次お知らせしますので、必ずご確認ください。

【単位認定試験期間】

2021年1月13日(水)~1月21日(木)消印有効

※授業科目案内やシステム WAKABA の時間割等でお知らせしていた試験日程とは異なりますので期間をお間違えのないようご注意ください。

システムWAKABAの利用方法

はじめに

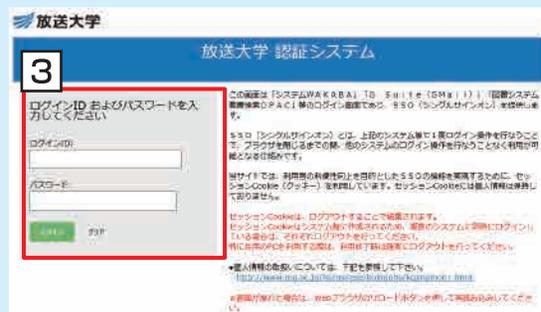
放送大学ホームページにて

- > 在学生の方へ
- > システムWAKABA(新教務情報システム)
- > [ログイン] をクリック

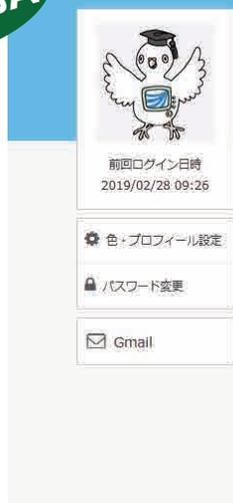
ログイン ID およびパスワードは
入学許可書に記載されています。



ログイン ID、パスワードを入力し
[ログイン] をクリック



システム
WAKABA



システム WAKABA では、大きく分けて
3つの「タブ」で構成されており、利用
できる機能も大まかにこの「タブ」で区分
されています。「タブ」をクリックする
ことで利用できる機能が切り替わります。

<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学生カルテ > 学生カルテ 	学籍情報、住所、履修情報、単位修得 情報等を確認できます
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 変更・異動手続 > 変更・異動手続 	住所変更や所属コース・学習センターの 変更、休学・復学の申請等が可能です。

学内リンクにて外部システムや
ホームページへ遷移できます

- ▶ Web通信指導
- ▶ オンライン授業
- ▶ 放送授業のインターネット
配信
- ▶ 単位認定試験問題・解答
等
- ▶ 面接授業（第1学期）の
ページ
- ▶ 面接授業（第2学期）の
ページ

詳細な『操作マニュアル』については、

「キャンパスライフ」タブ

→「附属施設・情報システム」をクリック

→「システム WAKABA 学生用マニュアル」にありますので、

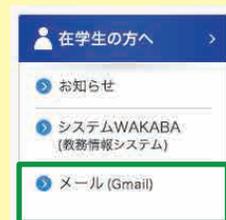
困ったことがあった場合には、**まずは『操作マニュアル』**でご確認ください。

キャンパスメールをご確認ください

学生全員にメールアドレスが付与されています。本部と学習センターからの
連絡を随時送付していますので定期的に確認してください。

メールアドレス

学生番号 (ハイフン除く) @campus.ouj.ac.jp



ライブラリー 講演会

場所 三の丸市民センター ホール
時間 14:00 ~ 16:00

事前申し込み制
参加費不要 !!



2021年2月20日(土)

里山では なぜ豊かな生物多様性が 保たれてきたのか

放送大学教授

加藤 和弘

里山では、伝統的な農法や土地管理のもとで高い生物多様性が保たれてきました。自然と人間との関係が適切であったことや生物にとっての多様な生息場所が存在していたことが理由とされますが、それだけでは十分ではありません。「適切」とはどういうことか。生物生息場所が多様であれば個々の生息場所は狭小になり、生息場所としての機能が落ちてしまうのではないか。こうした疑問に答えつつ、ランドスケープの観点から里山の生物多様性について解説します。

2021年3月13日(土)

仏像のかたちを探る — 蓮華化生と「気」の表現について —

茨城大学五浦美術文化研究所客員所員

後藤 道雄

悠久の歴史と深遠な思想をもつインド文明と中国文明の接触と融合は劇的で、その結果、仏教は多くの文化遺産を各地に遺すこととなります。仏教の中心ともいえる仏像について、表現のさまざまな姿をたどります。「はじめに」、「1. インドの蓮華について」、「2. 中国の「気」について」、「3. 蓮華化生の諸相—蓮華と「気」の融合—」、「おわりに—法隆寺玉虫厨子絵と夢殿救世観音像—」をテーマに進めていきます。

茨城学友同窓会

矢野 正義 会長

学友同窓会も全く思いがけない新型コロナウイルスの感染流行により、1学期のほとんどの行事を実施することができませんでした。かろうじて定例総会を書面総会という形で行いました。これは議案書を会員全員に郵送し、議題に対して賛否を返信してもらいました。例年の対面総会では出席者のみに議案書を配布していましたが、今回は会員全員に議案書を見てもらったことは、学友同窓会の現状を総合的に知ってもらう機会になりました。

さて、2学期も、引き続きコロナ禍の影響が避けられません。年間の全行事計画を見渡し、コロナ禍でも実施できそうな二つの事業を学習センターとの共催のもと行います。

一つは修士論文・卒業研究発表会です。対面方式の会場は入場者20人限定とし、GoogleMeetによるonline中継を同時に行い、より多くの皆様に見て頂けるようにする計画です。

二つめは学生論集「茨城SCフォーラム」11号の刊行です。現下の状況に鑑み、「ウイルス感染症特集」を設定します。この分野に知見、体験、関わっておられる皆様のご寄稿を頂きますようご案内致します(別途学習センターより原稿募集致します)。

学生・卒業生の皆様には学習センターとともに今回二つの事業にご注目・ご支援いただきますようお願い致します。

スケジュール

11月	8日(日)	大学院(博士後期)入試(第2次選考)(面接)
	10日(火)	第2学期通信指導提出開始(～12/1)※Webによる提出の場合
	14日(土) または 15日(日)	大学院(修士全科)入試(第2次選考)(面接)
	17日(火)	第2学期通信指導提出開始(～12/1)※郵送による提出の場合
	20日(金)	教員免許更新講習〔冬期〕受付終了
	24日(火)	臨時閉所日
	26日(木)	令和3年度第1学期募集要項配布開始 令和3年度第1学期出願受付開始(第1回)(～2/28)
	28日(土)	臨時閉所日
12月	12月28日(月)～1月4日(月)	閉所日(年末年始休日)
1月	12日(火)	臨時閉所日
	中旬	通信指導結果返送・試験通知【受験票】
	13日(水)	令和2年度2学期単位認定試験(～1/21)
	16日(土)	臨時閉所日(大学入学共通テスト)
	17日(日)	
	30日(土)	臨時閉所日(大学入学共通テスト)
2月	13日(土)	令和3年度第1学期科目登録受付開始(～2/27)※郵送の場合 令和3年度第1学期科目登録受付期間(～2/28)※Webの場合
	20日(土)	ライブラリー講演会(加藤和弘先生)
	25日(木)	臨時閉所日(茨城大学入試・前期)
	26日(金)	
	上旬～中旬	教員免許更新講習〔冬期〕修了認定試験(自宅試験にて実施予定)
	28日(日)	令和3年度第1学期入学出願受付終了【第1回】
3月	1日(月)	令和3年度第1学期入学出願受付開始【第2回】(～3/16)
	12日(金)	臨時閉所日(茨城大学入試・後期)
	13日(土)	ライブラリー講演会(後藤道雄先生)
	20日(土)	学位記授与式

2021年度第1学期入学生を募集します

パンフレットを同封しています!!!
ご家族、ご友人、お知り合いの方にご紹介ください

第1回出願期間

2020年11月26日(木)～2021年2月28日(日)

第2回出願期間

2021年3月1日(月)～2021年3月16日(火)

2021年度第1学期 教養学部・大学院(修士選科生・修士科目生)「学生募集要項」は、HPまたは学習センターに電話等で連絡いただければ無料でご本人宛にお送りします。

☆「個別相談」は、随時行っていますので、お気軽にお電話ください。 ☎ 029-228-0683(茨城学習センター事務局)